■日時：11 月 20 日（金） 14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 A
（岡山コンベンションセンター 4F 406）

ビギナーズ ポスター BP-A1（基礎・B/ 臨床・C）

座長　高濱宗一郎
（九州医療センター 免疫感染症内科）

BP-A1-1 宿主 Cyclophilin A との相互作用における HIV-1 カプシド N 末端 β ヘアピン領域の新たな役割

久島一葉[1,2]、大出裕高[3]、塩田達雄[4]、岩谷靖雅[5]、山下満左裕[6]、齊藤　暁[1,2,7,8]

1）宮崎大学フロンティア科学総合研究センター
2）宮崎大学医学獣医学総合研究科
3）独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
4）大阪大学 微生物病研究所
5）浜松医科大学 医学部医学科
6）Aaron Diamond AIDS Research Center, Columbia University Vagelos College of Physicians and Surgeons
7）宮崎大学農学部獣医学科
8）宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

BP-A1-2 HIV 感染者におけるクローン性造血（CHIP）と加齢関連疾患および一過性 / 持続性低レベルウイルス血症（BLIP/LLV）との関連

清水知成、松井宏行、キャロライン ジェラガト、鈴木光太郎、池田正俊、小西義延、岡本裕介、松本忠彦、白川康太郎、高折晃史

京都大学大学院医学研究科 血液内科学

BP-A1-3 カポジ肉腫で AIDS 発症し、ART 開始後周期的に全身状態悪化を認めた 1 例

熊本友子、澤田暁宏、徳川多津子、吉原　哲、日笠　聡

兵庫医科大学

BP-A1-4 悪性リンパ腫との鑑別を要した全身性リンパ腫脹や気道狭窄を伴う HIV 関連カポジ肉腫の 1 例

山本　賢[1]、高山耕治[1]、村田昌之[1]、下野信行[2]

1）九州大学病院総合診療科
2）唐津東松浦医師会センター

■日時：11 月 20 日（金） 14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 A
（岡山コンベンションセンター 4F 406）

ビギナーズ ポスター BP-A2（臨床・C）

座長　佐久川亮
（岡山赤十字病院）

BP-A2-1 CAB+RPV を導入した日本人高 BMI の PWH の一例

叶内　至[1]、今井三枝子[2]、阿部公俊[3]、高嶋英樹[4]、中尾安秀[4]、柳田義一[1]

1）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　薬剤部
2）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　看護部
3）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　糖尿病・内分泌代謝内科
4）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　総合診療科・感染症内科

BP-A2-2 簡易懸濁法による oral lead-in を経て長時間作用型カボテグラビル・リルピビリン導入に至った 1 例

高田紗衣[1]、松木克仁[1]、平野　淳[2]、羽柴知恵子[3]、今橋真弓[4,5]、平野隆司[1]、横幕能行[4,5]

1）NHO　名古屋医療センター　薬剤部
2）NHO　東名古屋病院　薬剤部
3）NHO　名古屋医療センター　看護部
4）NHO　名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
5）NHO　名古屋医療センター　感染症内科

BP-A2-3 EFV + TAF/FTC から BIC/TAF/FTC または DOR + TAF/FTC へ変更した患者における 96 週後体重変化の比較

岸田啓太郎[1]、中内崇夫[1]、祝洸太朗[1]、矢倉裕輝[1,2]、小西啓司[3]、中嶋恵理子[3]、廣田和之[3]、上地隆史[3]、西田恭治[3]、上平朝子[3]、白阪琢磨[3]、渡邊　大[2,3]

1）国立病院機構大阪医療センター薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター　エイズ先端医療研究部
3）国立病院機構大阪医療センター感染症内科

BP-A2-4 抗 HIV 療法の継続困難により AIDS を発症した 1 例

薛ショウ、村松　崇、金子　竣、原田侑子、宮下竜伊、加藤千博、一木昭人、近澤悠志、備後真登、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院

BP-A2-5　未治療 AIDS 発症妊婦に対する治療選択と周産期管理に多角的対応を要した 1 例

今　元季[1,2)]、今村淳治[1,2)]、伊藤俊広[1)]、武山陽一[3)]、千葉洋夫[4)]、渡邉浩司[4)]

1）国立病院機構　仙台医療センター　感染症内科
2）国立病院機構　仙台医療センター　総合診療科
3）国立病院機構　仙台医療センター　産婦人科
4）国立病院機構　仙台医療センター　小児科

■日時：11 月 20 日（金）　14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 A
（岡山コンベンションセンター 4F 406）

ビギナーズ ポスター BP-A3（臨床・C）

座長　関谷綾子
（がん感染症センター都立駒込病院）

BP-A3-1　HHV-8 関連多中心性 Castleman 病 3 例の臨床的検討

西場大喜、吉村幸浩、宗　佑奈、伊東裕史、宮田順之、長谷川直樹

横浜市立市民病院 感染症内科

BP-A3-2　ART 導入後に治療方針を再検討し得た AIDS 関連中枢神経系原発悪性リンパ腫の一例

有馬聖志朗、山入端一貴、上　若生、井手口周平、仲村秀太、宮城一也、山本和子

琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）

BP-A3-3　潜在性結核治療後の HIV 感染症患者に脳結核腫を発症した 1 例

西山史帆[1,2)]、松本佑慈[1,3)]、山本　賢[1)]、高山耕治[1)]、村田昌之[1)]、下野信行[1)]

1）九州大学病院
2）飯塚病院
3）九州中央病院

BP-A3-4　肝生検で診断した播種性 Mycobacterium avium complex(MAC) 症を合併した HIV 感染症の 1 例

武笠美彌、吉田恭子、福島一彰、相澤陽太、鄭　瑞雄、田中　勝、小林泰一郎、関谷綾子、矢嶋敬史郎、味澤　篤、今村顕史

都立駒込病院 感染症科

BP-A3-5　抗レトロウイルス療法下の HIV 感染症患者に発症した関節リウマチ：診断と抗リウマチ薬による治療経験

上野匡庸[1,2)]、宮川一平[1,2,3)]、齋藤和義[1,2,4)]、南　貴明[1)]、清水少一[2,5)]、稲村由香[2,6)]、中山田真吾[1)]

1）産業医科大学医学部　第 1 内科学講座
2）産業医科大学病院 HIV 診療センター
3）産業医科大学医学部　分子標的治療内科学講座
4）戸畑総合病院
5）産業医科大学医学部 免疫学・寄生虫学講座
6）産業医科大学病院　薬剤部

BP-A3-6　平均血小板容積は HIV 陽性者の eGFR 低下と相関するか

皆川祐亮[1)]、山口英美[1)]、村多杏美[1)]、生駒由奈[1)]、今村淳治[2)]

1）国立病院機構仙台医療センター薬剤部
2）国立病院機構仙台医療センター感染症内科

■日時：11 月 20 日（金）　14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 B
（岡山コンベンションセンター 4F 407）

ビギナーズ ポスター BP-B1（社会・S）

座長　末盛浩一郎
（愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学）

BP-B1-1　男性 HIV 陽性者のセクシュアリティと性行動および心理的傾向―セルフコントロールに着目して―

谷　英俊[1)]、津川秀夫[2)]、和田秀穂[1,3)]、安田万里子[1)]、福田寛文[1,3)]、平　えり[1)]

1）川崎医科大学附属病院
2）吉備国際大学
3）川崎医科大学

BP-B1-2　外国籍の HIV/HCV 重複感染例に対して、多職種・病診・薬薬連携により治療導入し得た一例

白濱　航[1)]、田中　透[2)]、辻　直樹[3)]、西　勇治[4)]、岡本健志[3)]、高田　昇[3)]

1）県立広島病院薬剤科
2）県立広島病院地域連携
3）県立広島病院総合診療科・感染症科
4）県立安芸津病院薬剤科

BP-B1-3 文化的・言語的背景に配慮した外国出身 HIV 陽性者への U=U 説明と服薬継続支援

宮城真理子[1)]、仲村秀太[2)]、前田サオリ[1)]、宮良尚子[4)]、金城隆展[3)]、前原一樹[5)]、大田久美子[6)]、宮城京子[1)]、砂川綾美[1)]、眞栄城智子[7)]

1）琉球大学病院看護部
2）琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
3）琉球大学病院地域・国際医療部
4）沖縄県公認心理士協会
5）琉球大学病院医療福祉センター
6）琉球大学病院薬剤部
7）琉球大学病院看護部長

BP-B1-4 Access to Antiretroviral Therapy (ART) among Foreign Residents: A Socioecological Review

INDRI KARTIKO-SARI[1,2)]、北島　勉[2)]

1）公益財団法人エイズ予防財団
2）杏林大学総合政策学部

BP-B1-5 歯科衛生士学生における HIV/AIDS および U=U に関する知識・意識調査

川井千恵子[1,2)]、神田　拓[2)]、岡本健志[3)]、高田　昇[3)]

1）県立広島病院　医療技術部
2）県立広島病院　歯科・口腔外科
3）県立広島病院　総合診療科・感染症科

BP-B1-6 歯科医療のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ実現に向けて - 北海道 HIV/AIDS 歯科医療ネットワーク事業の展開 -

中井　悠、坂田健一郎、佐藤　淳

北海道大学歯学研究院口腔病態学分野口腔診断内科学教室

■日時：11 月 20 日（金）　14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 B
（岡山コンベンションセンター 4F 407）

ビギナーズ ポスター BP-B2（臨床・C）

座長　齊藤誠司
（国立病院機構福山医療センター 感染症内科）

BP-B2-1 ビクテグラビル / テノホビルアラフェナミド / エムトリシタビン投与中の 2 型糖尿病を合併した 3 例におけるチルゼパチド開始後 48 週の体重変化および HbA1c の変化

祝洸太朗[1)]、中内崇夫[1)]、岸田啓太郎[1)]、矢倉裕輝[1,2)]、小西啓司[3)]、中嶋恵理子[3)]、廣田和之[1)]、上地隆史[3)]、西田恭治[3)]、上平朝子[3)]、白阪琢磨[3)]、渡邊　大[2,3)]

1）国立病院機構大阪医療センター　薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センター　エイズ先端医療研究部
3）国立病院機構大阪医療センター　感染症内科

BP-B2-2 当院 HIV 感染者におけるサプリメント使用状況および抗 HIV 薬との相互作用の検討

久志井結衣[1)]、安田明子[1)]、渡邉珠代[2)]

1）石川県立中央病院薬剤部
2）石川県立中央病院免疫感染症科

BP-B2-3 地方中核病院における HIV 陽性者の併存疾患とポリファーマシー

木村誠二、富永正樹、木下　隆、星野友昭

久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門

BP-B2-4 長時間作用型 CAB/RPV 導入例における患者疼痛の解析

池田慶介、和田達彦、山岡邦宏

北里大学病院　リウマチ膠原病・感染内科

BP-B2-5 HIV 持続性注射治療への切り替え支援における保険薬局薬剤師の役割

照屋良佳[1)]、成田　雅[2)]、嘉数光一郎[2)]、渡慶次真由美[2)]、向井三穂子[2)]、屋良　愛[1)]、松田絵理奈[1)]、安次富大[1)]、坂本政文[1)]、喜屋武芳美[1)]、佐藤雅美[1)]、宮里早香[1)]、寺本奈都子[1)]、金城夏乃[1)]

1）（株）薬正堂　すこやか薬局
2）沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

■日時：11 月 20 日（金） 14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 B
（岡山コンベンションセンター 4F 407）

ビギナーズ ポスター BP-B3（臨床・C）

座長　今村淳治
（国立病院機構仙台医療センター）

BP-B3-1 「いきなり AIDS」妊婦への抗 HIV 治療導入から出産、産後まで服薬支援できた一例

生駒由奈[1)]、山口英美[1)]、皆川祐亮[1)]、村多杏美[1)]、鈴木佳奈子[2)]、佐々木晃子[2)]、佐藤華絵[3)]、三浦麻衣[4)]、安達大紀[4)]、今　元季[4,5)]、伊藤俊広[4)]、今村淳治[4)]

1）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター薬剤部
2）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター看護部
3）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター地域医療連携室
4）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター感染症内科
5）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター総合診療科

BP-B3-2 居住環境の不安を抱える患者の生活支援

前原一輝[1)]、石郷岡美穂[1)]、宮良尚子[2)]、前田サオリ[3)]、宮城京子[3)]、上間道仁[4)]、井手口周平[5)]、仲村秀太[5)]、山本和子[5)]、國場和仁[1)]、平田哲生[1)]

1）琉球大学病院　患者支援センター
2）沖縄国際大学　総合文化学部人間福祉学科
3）琉球大学病院　看護部
4）琉球大学病院　内分泌代謝・血液・膠原病リウマチ内科
5）琉球大学病院　感染症・呼吸器・消化器内科

BP-B3-3 ＨＩＶ陽性者への外来・入院から有料老人ホーム入所までを通した支援

中村翔太、松本香澄、青野加奈子、鳥越彩英子、永田若菜、宮丸桃子、石井智美、車　陽子、渡邉珠代

石川県立中央病院

BP-B3-4 浜松市内における療養環境の充実・拡大を目的とした出前講座

宮崎佳子、原　幸平、馬嶋里香、山崎郁真、田島靖久

浜松医療センター

BP-B3-5 北海道における CBO 主体の HIV・梅毒郵送検査キット配布活動の実践と課題

国見亮佑

一般社団法人にじいろほっかいどう

BP-B3-6 専門外来におけるソーシャルワーク実践一考察

冨永誠記[1)]、三木浩和[2)]、中村信元[3)]、後藤さおり[4)]、矢野由美子[4)]、泉　侑希[4)]、北上早紀[1)]、岡本秀樹[1)]、秋月佐代[1)]、後藤由香[1)]、松岡賢一[5)]

1）徳島大学病院患者支援センター
2）徳島大学病院輸血細胞治療部
3）徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野
4）徳島大学病院感染制御部
5）徳島大学大学院医歯薬学研究部血液・内分泌代謝内科学分野

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-B（基礎・B）
HIV 基礎研究

P-B-1 東海地方におけるイスラトラビルおよびドラビリンに対する薬剤耐性関連変異の出現頻度調査

重見　麗[1)]、山村喜美[1)]、松田昌和[1)]、大出裕高[1)]、岩谷靖雅[1,2)]、横幕能行[1)]、今橋真弓[1,3)]

1）独）国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター
2）浜松医科大学
3）名古屋大学大学院医学系研究科

P-B-2 ナノポアシークエンスによる HIV-1 準種ハプロタイプ配列推定

大出裕高[1)]、松田昌和[1)]、重見　麗[1)]、山村喜美[1)]、岩谷靖雅[1,2)]、横幕能行[1)]、今橋真弓[1,3)]

1）（独）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター
2）浜松医科大学医学部
3）名古屋大学大学院医学系研究科

P-B-3 タンパク質言語モデルを用いた抗 HIV-1 抗体の in silico somatic hyper mutation の検討

郭　　悠、伊東直哉

名古屋市立大学東部医療センター

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S01（社会・S）
政策・医療体制

P-S01-1 四国地方における HIV 診療の実態と長期療養の課題―2023 ～ 2025 年 SHARE レジストリー解析―

末盛浩一郎[1)]、木原久文[1)]、山之内純[2)]、乗松 真大[3)]、池田　聖[4)]、武内世生[5)]、中村美保[6)]、内田俊平[7)]、三木 浩和[8)]、尾崎修治[9)]、高田清式[10)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部
3）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部
4）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
5）高知大学医学部附属病院　総合診療部
6）高知大学医学部附属病院　看護部
7）香川大学医学部附属病院　血液内科
8）徳島大学病院　輸血・細胞治療部
9）徳島県立中央病院　血液内科
10）医療法人愛寿会　西条愛寿会病院

P-S01-2 中核拠点病院連絡調整員事業の 14 年間の取り組み

池田和子[1)]、東　政美[2)]、白阪琢磨[2,3)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
2）独立行政法人国立国際病院機構　大阪医療センター
3）公益財団法人　エイズ予防財団

P-S01-3 琉球大学病院における HIV カウンセリング体制の変遷と今後の課題

上　　薫[1,2)]、宮良尚子[1,2,3)]、井村弘子[2)]、大城市子[1,2)]、照屋美波[1,2)]、新垣有紗[1,2)]、吉村和佳乃[1,2)]、辺土名優美子[1,2,4)]、前田サオリ[1)]、宮城京子[1)]、仲村秀太[5)]、山本和子[5)]

1）国立大学法人琉球大学琉球大学病院
2）沖縄県公認心理師協会
3）沖縄国際大学
4）医療法人天仁会 天久台病院
5）国立大学法人琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

P-S01-4 新規エイズ治療拠点病院の申請を契機とした HIV 診療体制構築の取り組み

石原正志[1,6)]、松本利恵[1)]、三輪 典古[2)]、森本剛史[3)]、鈴木実優[4)]、李　　心[5)]、藤田　慧[5)]、原　武志[5)]、鶴見　寿[5,6)]

1）松波総合病院　薬剤部
2）松波総合病院　診療局看護師
3）松波総合病院　中央検査室
4）松波総合病院　PFM センター
5）松波総合病院　血液・腫瘍内科
6）岐阜大学医学部附属病院

P-S01-5 多職種を対象としたオンライン HIV 研修の教育効果の評価

石井智美[1)]、車　陽子[1)]、浅田裕子[1)]、渡邉珠代[2)]

1）石川県立中央病院　看護部
2）石川県立中央病院　免疫感染症科

P-S01-6 HIV 陽性者の歯科・透析医療および介護サービスアクセス向上のための地域連携体制構築に関する研究（第 1 報）

福地貴彦

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合診療科

P-S01-7 北陸ブロック拠点病院における HIV 陽性者の実態調査

山田栞里[1,4)]、車　陽子[2)]、石井智美[2)]、渡邉珠代[3)]

1）石川県立中央病院 HIV 事務室
2）石川県立中央病院看護部
3）石川県立中央病院免疫感染症科
4）エイズ予防財団リサーチ・レジデント

P-S01-8 エイズ診療中核拠点病院における薬害 HIV 感染被害者支援の課題

高木雅敏[1)]、宮本祐輔[1)]、上村裕子[2)]、原田　薫[2)]、川田紀子[1)]、中村朋文[6)]、中田浩智[3)]、安永純一郎[5)]、松下修三[4)]

1）熊本大学病院看護部
2）熊本大学病院地域医療連携センター
3）熊本大学病院感染免疫診療部
4）熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
5）熊本大学病院血液・膠原病・感染症内科
6）熊本大学病院中央検査部

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S02（社会・S）
検査・相談体制

P-S02-1 日本と台湾における HIV 検査・相談体制に関する課題：スコーピングレビュー

井坂ゆかり[1,2)]、中澤眞生[1,3)]、堀　　愛[1,2)]、鈴木広道[1,2)]、橋本英樹[1,4)]、柯　乃熒[5)]

1）筑波大学
2）筑波大学トランスボーダー医学研究センター
3）筑波大学大学院人間総合科学研究科
4）筑波大学附属病院
5）国立台湾成功大学

P-S02-2 HIV 迅速検査キット供給制限・供給停止が保健所等の HIV 検査提供体制に及ぼした影響－全国質問票調査－

本間隆之 [1)]、今村顕史 [2)]

1）株式会社マイ . ビジネスサービス
2）都立駒込病院感染症科

P-S02-3 Microsoft Forms を利用した新宿東口検査・相談室における HIV アンケート調査（第二報）

貞升健志 [1)]、長島真美 [2)]、岩橋恒太 [3)]、岩崎直哉 [2)]、本間隆之 [4)]、三宅啓文 [2)]、千葉隆司 [2)]、潟永博之 [5)]、西塚　至 [2,6)]、吉村和久 [7)]、白阪琢磨 [8)]、四本美保子 [9)]

1）関東学院大学栄養学部
2）東京都健康安全研究センター
3）特定非営利活動法人 akta
4）株式会社マイ . ビジネスサービス
5）JIHS 国立国際医療センター
6）東京都保健医療局
7）大田区保健所
8）エイズ予防財団
9）東京医科大学病院

P-S02-4 保健所を対象とした HIV 検査に関するアンケート調査

貞升健志 [1)]、今橋真弓 [2)]、長島真美 [3)]、吉村和久 [4)]、横幕能行 [2)]

1）関東学院大学栄養学部
2）NHO 名古屋医療センター
3）東京都健康安全研究センター
4）大田区保健所

P-S02-5 HIV 検査試薬の供給停止が国内 HIV 検査体制に与えた影響

佐野貴子 [1)]、草川　茂 [2)]、菊地　正 [2)]、松岡佐織 [2)]、須藤弘二 [3)]、近藤真規子 [3)]、今井光信 [4)]、加藤眞吾 [3)]、今村顕史 [5)]、山岸拓也 [6)]

1）神奈川県衛生研究所微生物部
2）国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
3）株式会社ハナ・メディテック
4）田園調布学園大学
5）東京都立駒込病院感染症科
6）国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所薬剤耐性研究センター

P-S02-6 常設夜間休日 HIV 検査場における外国籍検査者の動向と支援体制の強化について

毛受矩子、上林孝子、宮本伸枝、大角順子、折井由美子、徳永羊子、鎌田美恵子、沢田恵美子、藤本佳子、高田由紀子

NPO 法人スマートらいふネット

P-S02-7 HIV/AIDS 看護の人材育成における課題とその要因 ―エイズワーキンググループ活動に参加する看護師の視点から―

坂本涼子 [1)]、藤井輝久 [2)]

1）広島大学病院　看護部・エイズ医療対策室
2）広島大学病院　輸血部・エイズ医療対策室

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-S03（社会・S）
行動科学・意識調査 / 陽性者支援

P-S03-1 HIV 感染症患者の受け入れ意向と実績に関連する因子の検討―出張研修前後の比較解析―

木原久文 [1)]、末盛浩一郎 [1)]、宮崎雅美 [2)]、若松　綾 [2)]、池田　聖 [3)]、中尾　綾 [4)]、乗松真大 [5)]、竹中克斗 [1)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科　血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　看護部
3）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
4）愛媛大学大学院医学系研究科　感染制御学
5）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

P-S03-2 HIV 感染症患者の受け入れ不安に関連する因子の検討―出張研修前後の比較解析―

木原久文 [1)]、末盛浩一郎 [1)]、宮崎雅美 [2)]、若松　綾 [2)]、池田　聖 [3)]、中尾　綾 [4)]、乗松真大 [5)]、竹中克斗 [1)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科　血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　看護部
3）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
4）愛媛大学大学院医学系研究科　感染制御学
5）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

P-S03-3 HIV とともに生きる人々における AIDS 発症リスクに関する低リスク認知と孤独感との関連

林　　鵬 [1,2,4)]、上條槙子 [3)]、谷内　通 [4)]、久保かおり [2)]、渡邊珠代 [2)]

1）公益財団法人エイズ予防財団
2）石川県立中央病院
3）帝京大学
4）金沢大学

P-S03-4 HIV 陽性者における HIV 関連スティグマの時間的変化―陽性判明後から 1 年前までとこの 1 年間の比較―

阿部桜子[1)]、井上洋士[2)]、高久陽介[3)]、
戸ヶ里泰典[4)]、大島　岳[5)]、細川陸也[6)]、
山内麻江[7)]、米倉佑貴[8)]、関由起子[9)]、塩野徳史[10)]、
井上智史[11)]、伊藤佳七子[3)]、若林チヒロ[12)]

1）TIS 株式会社
2）アクセライト
3）日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4）放送大学
5）明治大学
6）京都府立医科大学
7）順天堂大学
8）聖路加国際大学
9）埼玉大学
10）大阪青山大学
11）九州大学
12）埼玉県立大学

P-S03-5 HIV 陽性者における市販薬不適切使用の実態と理由―HIV Futures Japan 第 4 回調査より

戸ヶ里泰典[1)]、井上洋士[2)]、高久陽介[3)]、
大島　岳[4)]、阿部桜子[5)]、細川陸也[6)]、
山内麻江[7)]、米倉佑貴[8)]、関由起子[9)]、
塩野徳史[10)]、井上智史[11)]、伊藤佳七子[1)]、
若林チヒロ[12)]

1）放送大学
2）アクセライト
3）日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4）明治大学
5）TIS
6）京都府立医科大学
7）順天堂大学
8）聖路加国際大学
9）埼玉大学
10）大阪青山大学
11）九州大学
12）埼玉県立大学

P-S03-6 長時間作用型注射剤への治療変更を経験した PLWH の治療受容と日常生活への影響

久保田早苗[1)]、青嶋瑞樹[1)]、鈴木麻衣[2)]、
池田麻穂子[2)]、福井由希子[2)]、内藤俊夫[2)]

1）順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
2）順天堂大学医学部総合診療科学講座

P-S03-7 当科通院 HIV 患者の性格検査に関する実態調査

大友　健[1)]、木村聡太[1)]、大金美和[1)]、
杉野祐子[1)]、鈴木ひとみ[1)]、池田和子[1)]、
谷口　紅[1)]、大杉福子[1)]、野崎宏枝[1)]、
向井博子[1,2)]、知久熙眞[1)]、高橋昌也[1)]、
宮本里香[1)]、加藤　温[3)]、照屋勝治[1)]、
潟永博之[1)]

1）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
2）公益財団法人エイズ予防財団
3）国立国際医療センター　精神科

P-S03-8 近接性が HIV 陽性者に対する態度に及ぼす影響

上條槙子[1,2)]、谷内　通[2)]

1）帝京大学
2）金沢大学

P-S03-9 薬害 HIV 感染被害者における高ミトコンドリア毒性抗 HIV 薬累積曝露量と握力との関連

原田裕子[1)]、藤内宏典[1)]、堀　弘明[1)]、
新井崇之[3,4)]、田澤佑基[3,4)]、遠藤知之[2,3)]

1）北海道大学病院リハビリテーション部
2）北海道大学病院感染制御部
3）北海道大学病院 HIV 診療支援センター
4）北海道大学病院薬剤部

■日時：11 月 22 日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-S04（社会・S）
ソーシャルワーク / 薬害

P-S04-1 米国ハームリダクション実践にみる支援の哲学

新田慎一郎[1,2,3)]、高野　歩[1)]、
ATICI Selim Gokce[4,5)]

1）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
2）特定非営利活動法人 ぷれいす東京
3）医療法人社団ゆうりん ゆうりんクリニック
4）プリンストン大学
5）東京大学 東京カレッジ

P-S04-2 学校教育と連携する思春期の HIV/AIDS の予防啓発活動～高校 2 年生に対する HIV/AIDS の意識調査～

海老名徹[1)]、立田卓登[1)]、赤木智昭[1)]、後藤高志[2)]、小林克徳[3)]、青木一朗[4)]、高林良子[5)]、三浦　真[6)]、里村智彦[7)]、三橋信子[8)]、佐藤忠全[9)]、高井和紀[10)]、葛西広和[11)]、沼田　徹[12)]、船橋亜矢[1)]、定　　孝[13)]、菊池香織[13)]、安宍美咲[13)]、工藤雅庸[14)]、久保恒明[1)]、秋野　桂[13)]

1) 青森県立中央病院血液内科
2) 公共社団法人青森県医師会
3) 一般社団法人青森県歯科医師会
4) 一般社団法人青森県薬剤師会
5) 公共社団法人青森県看護協会
6) 青森県高等学校長会
7) 青森県私立中学高等学校長会
8) 青森県中学校長会
9) 青森県特別支援学校長会
10) 青森県教育庁スポーツ健康課
11) 青森県こども家庭部県民活躍推進課
12) 青森県弁護士会
13) 青森県健康医療福祉部
14) 青森県保健所長会

P-S04-3 多数透析施設で受入拒否を受けた HIV 陽性者患者における透析導入と維持の課題 (第 1 報)―倫理的意思決定と地域連携による解決―

宗好祐子[1)]、吉岡典子[2)]、東郷和美[3)]、大道淳二[4)]、三村陽子[5)]、佐久川亮[6)]

1) 岡山赤十字病院医療社会事業部医療社会事業課
2) 岡山赤十字病院看護部
3) 岡山赤十字病院精神神経科
4) 岡山赤十字病院薬剤部
5) 重井医学研究所附属病院入退院支援センター
6) 岡山赤十字病院呼吸器内科

P-S04-4 多数透析施設で受入拒否を受けた HIV 陽性者患者における透析導入と維持の課題（第 2 報）ー維持透析の受入を行った地域の非拠点病院の立場からー

三村陽子[1)]、宗好祐子[2)]、森安香緒里[3)]、産賀知子[4)]、佐久川亮[5)]

1) 重井医学研究所附属病院入退院支援センター
2) 岡山赤十字病院医療社会事業課
3) 重井医学研究所附属病院看護部
4) 重井医学研究所附属病院血液浄化療法センター
5) 岡山赤十字病院呼吸器内科

P-S04-5 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について - 第 5 回 Ns と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から -

三嶋一輝[1)]、大金美和[2)]、杉野祐子[2)]、谷口　紅[2)]、高橋昌也[2)]、百田亜紀子[1)]、田村梨華[1)]、葛田衣重[3)]、潟永博之[2)]

1) 福井大学医学部附属病院
2) 国立国際医療研究センター病院
3) 千葉大学医学部附属病院

P-S04-6 HIV 感染症患者の療養支援に関する心理職と MSW の協働について - 第 2 回心理職と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から -

三嶋一輝[1)]、木村聡太[2)]、高橋昌也[2)]、高野公輔[3)]、青野加奈子[4)]、越野紗矢[4)]、高村佳幸[5)]、葛田衣重[6)]、潟永博之[2)]

1) 福井大学医学部附属病院
2) 国立国際医療研究センター病院
3) 明治学院大学
4) 石川県立中央病院
5) 順天堂医院
6) 千葉大学医学部附属病院

P-S04-7 A 地域における薬害 HIV 訴訟期の血友病 HIV 感染者の「相互ケアシステム」

山田富秋[1)]、種田博之[2)]、入江恵子[3)]、小川良子[4)]、宮本哲雄[5)]、松枝亜希子[6)]

1) 特定非営利活動法人　社会理論・動態研究所
2) 産業医科大学
3) 北九州市立大学
4) 所属なし
5) 大阪医療センター
6) 社会理論・動態研究所

P-S04-8 薬害 HIV 感染血友病等患者のがん検診促進と公認心理師の役割に関する動画教材の制作・公開

田中貴大[1)]、保坂　隆[1,2)]、後藤智己[3)]、古賀道子[1)]、福田あかり[1)]、柿沼章子[3)]、四柳　宏[1,4)]

1) 東京大学医科学研究所附属病院　感染免疫内科
2) 保坂サイコオンコロジー・クリニック
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
4) 国立健康危機管理研究機構

■日時：11 月 22 日（日） 10:30 ～ 12:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S05（社会・S）
薬害

P-S05-1 薬害 HIV 感染者に対する個別救済のための病病連携における患者と医療従事者の課題

大杉福子、野崎宏枝、知久熙眞、鈴木ひとみ、杉野祐子、大金美和、宮本里香、木村聡太、高橋昌也、上村　悠、中本貴人、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

P-S05-2 薬害 HIV 感染血友病患者における緊急時受診先調整の実態と課題

野崎宏枝[1)]、大杉福子[1)]、谷口　紅[1)]、向井博子[1,2)]、池田和子[1)]、鈴木ひとみ[1)]、杉野祐子[1)]、大金美和[1)]、木村聡太[1)]、大友　健[1)]、高橋昌也[1)]、宮本里香[1)]、上村　悠[1)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
2）公益財団法人　エイズ予防財団

P-S05-3 HIV 感染血友病患者における移動困難感と地域差の検討

宮本高明[1)]、西原将太[1)]、木下雄介[1)]、岡田貴裕[1)]、松崎春希[1)]、山本克彦[1)]、大金美和[2)]、柿沼章子[3)]、藤谷順子[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　リハビリテーション科
2）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
3）社会福祉法人　はばたき福祉事業団

P-S05-4 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 7 年度）第 2 報 通院の状況

川戸美由紀[1)]、三重野牧子[2)]、橋本修二[3)]、天野景裕[4)]、大金美和[5)]、岡本　学[6)]、潟永博之[5)]、日笠　聡[7)]、八橋 弘[8)]、渡邊　大[6)]、白阪琢磨[6)]

1）国立保健医療科学院
2）自治医科大学
3）藤田医科大学
4）東京医科大学
5）国立健康危機管理研究機構
6）国立病院機構大阪医療センター
7）兵庫医科大学病院
8）国立病院機構長崎医療センター

P-S05-5 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 7 年度）第 3 報 喫煙・飲酒の状況

三重野牧子[1)]、川戸美由紀[2)]、橋本修二[3)]、天野景裕[4)]、大金美和[5)]、岡本　学[6)]、潟永博之[5)]、日笠　聡[7)]、八橋　弘[8)]、渡邊　大[6)]、白阪琢磨[6)]

1）自治医科大学情報センター
2）国立保健医療科学院
3）藤田医科大学
4）東京医科大学
5）国立健康危機管理研究機構
6）国立病院機構大阪医療センター
7）兵庫医科大学病院
8）国立病院機構長崎医療センター

P-S05-6 薬害エイズおよびエイズ・パニックに関する認知度調査の結果

日下　都

任意団体　PLANET（HIV・エイズとともに生きる人々）

P-S05-7 「生きる」を支える―高齢化する薬害 HIV 患者の地域支援に向けた教育資源作成と普及活動の実践―

長浦由紀[1)]、石田陽子[2)]、高田知恵子[3)]、中川雄真[4)]、関口　愛[5)]、曽我真千恵[6)]、濱田航一郎[1)]、三木浩司[7)]、南　留美[6)]

1）長崎大学病院 総合診療科
2）北海道大学病院 HIV 診療支援センター／公益財団法人エイズ予防財団
3）タカタ・カウンセリング・オフィス
4）常葉大学 教育学部
5）大分大学医学部臨床薬理学講座
6）九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
7）小倉記念病院 緩和ケア・精神科

■日時：11 月 22 日（日） 10:30 ～ 12:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S06（社会・S）
潜在外国人 / その他

P-S06-1 外国籍HIV感染症患者の臨床的特徴とART継続支援の課題

廣田和之[1)]、小西啓司[1,2)]、上地隆史[1)]、中嶋恵理子[1)]、渡邊　大[1,2)]、西田恭治[1)]、上平朝子[1)]、白阪琢磨[1)]

1）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター　感染症内科
2）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センターエイズ先端医療研究部

P-S06-2 当院における外国籍 PWH の臨床的特徴と早期診断・支援体制の課題

高江洲壮[1,2)]、仲村秀太[1)]、長谷川知彦[1)]、山入端一貴[1)]、新垣若子[1)]、前田さおり[3)]、宮城京子[3)]、田里大輔[2)]、山本和子[1)]

1）琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）
2）北部地区医師会病院　呼吸器・感染症科
3）琉球大学病院看護部　外来

P-S06-3 北陸 HIV 情報センターにおける外国人 HIV 陽性者支援の実態と課題　―支援記録を用いた後方視的検討―

山崎玲子、西念奈津江、中崎しげ子、今井由三代

北陸 HIV 情報センター

P-S06-4 日本在住外国人の HIV 検査情報探索とチャットボット支援ニーズに関する質的研究

ThiHue Tran[1)]、北島　勉[2)]、宮首弘子[3)]、沢田貴志[4)]、Shakya Supriya[5)]

1）神戸女子大学
2）杏林大学総合政策学部
3）杏林大学外国語学部
4）神奈川県横浜市神奈川区港町診療所
5）Japan Foundation for AIDS Prevention

P-S06-5 「男性間性的接触 Same Sex Sexual Behavior（SSSB）に関する遺伝子研究」についての文献学的研究

立川夏夫

名寄東病院

P-S06-6 性感染症予防啓発活動を支えるボランティアスタッフのやりがいと困難さ - 予防啓発に従事する CBOs の活動をサポートするための方策の検討 -

澤田華世[1)]、町登志雄[2)]、藤井良樹[3)]、塩野徳史[4)]

1）名古屋市立大学大学院　看護学研究科
2）MASH 大阪
3）名古屋大学大学院　人文学研究科　博士研究員
4）大阪青山大学　看護学部　看護学科

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C01（臨床・C）
薬害

P-C01-1 HIV 感染血友病患者の機能的自立度は筋量より筋質を反映する―Phase Angle を用いた検討―

松崎春希[1)]、宮本高明[1)]、西原将太[1)]、木下雄介[1)]、岡田貴裕[1)]、山本克彦[1)]、大金美和[2)]、柿沼章子[3)]、藤谷順子[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　リハビリテーション科
2）国立健康危機管理研究機構　国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
3）社会福祉法人　はばたき福祉事業団

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C02（臨床・C）
日和見感染・悪性腫瘍・肝炎

P-C02-1 HIV RNA 抑制下に発症・再燃した HIV 関連カポジ肉腫の臨床的特徴

中本貴人、川島　亮、井上恵理、桑田　亮、源河いくみ、矢崎博久、安藤尚克、上村　悠、水島大輔、青木孝弘、菊池　嘉、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

P-C02-2 AIDS 発症 PLWH における ART 開始後に発症したサイトメガロウイルス臓器障害

吉川　寛、谷口俊文、矢幅美鈴、猪狩英俊、河井彬弘

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

P-C02-3 当院における HIV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療経験：単施設 4 例

小林宣彦[1)]、小川孔幸[1)]、松本　彬[1)]、反町百花[1)]、塚田明彦[1)]、西連寺由起子[1)]、寺崎幸恵[1)]、武井寿史[1)]、宮澤悠里[1)]、柳澤邦雄[2)]、内海英貴[3)]、半田　寛[1)]

1）群馬大学医学部附属病院血液内科
2）深谷赤十字病院内科
3）医療法人社団日高会　白根クリニック

P-C02-4 HIV 治療を自己中断し AIDS 発症で入院となった 15 症例の検討

金子　竣、村松　崇、大崎俊樹、原田侑子、加藤千博、宮下竜伊、一木昭人、近澤悠志、備後真登、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院　臨床検査医学科

P-C02-5 外国籍 HIV 陽性者における播種性非結核性抗酸菌症発症と長期管理

宮下竜伊、大崎俊樹、金子　竣、一木昭人、近澤悠志、備後真登、村松　崇、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院臨床検査医学科

P-C02-6 薬害 HIV・HCV 共感染先天性血友病 A 患者に発症した AFP 産生胃癌肝転移の 1 例

松本　彬[1)]、小川孔幸[2)]、柳澤邦雄[3)]、石崎芳美[4)]、樋口裕哉[5)]、城田陽子[6)]、桑原陽子[7)]、武井寿史[1)]、小林宣彦[1)]、宮澤悠里[1)]、内海英貴[8)]、半田　寛[1)]

1) 群馬大学医学部附属病院　血液内科
2) 群馬大学医学部附属病院　輸血部
3) 深谷赤十字病院　内科
4) 群馬大学医学部附属病院　看護部
5) 群馬大学医学部附属病院　薬剤部
6) 群馬大学医学部附属病院　医事課（エイズ予防財団）
7) 群馬大学医学部附属病院　患者支援センター
8) 白根クリニック

P-C02-7 重症ニューモシスチス肺炎を契機に診断された HIV 感染症の致死的経過

高濱宗一郎[1)]、中川ともみ[2)]、犬丸真司[2)]、長與由紀子[2)]、南　留美[1)]、中嶋恵理子[3)]、藤田　綾[4)]

1) 国立病院機構　九州医療センター　免疫感染症内科
2) 国立病院機構　九州医療センター　看護部
3) 国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科
4) 国立病院機構　九州医療センター　病理診断科

■日時：11 月 22 日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C03（臨床・C）
抗 HIV 療法

P-C03-1 HIV 陽性者における Doravirine ベースレジメンの使用実態：DATuM IDEA を用いた後ろ向き観察研究

服部純子[1)]、上元純平[1)]、松下一鈴[2)]、端本直輝[2)]、松本圭以[2)]、風戸知子[2)]、村上亜弥[3)]

1) MSD 株式会社
2) TOPPAN ホールディングス株式会社
3) 株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT

P-C03-2 Switch to DORAVIRINE/ISLATRAVIR (DOR/ISL 100 mg/0.25 mg) QD from BIC/FTC/TAF: 96-Week Update from a Blinded Phase 3 Study

初澤由香理[1)]、Amy E. Colson[2)]、Anthony M. Mills[3)]、Moti Ramgopal[4)]、Christopher Bettacchi[5)]、Olayemi Osiyemi[6)]、Federico Hinestrosa[7)]、Gordon Crofoot[8)]、Harold P. Katner[9)]、Gatanaga Hiroyuki[10)]、Margaret Johnson[11)]、Chenguang Zhang[12)]、Tracy L. Diamond[12)]、Erika Barninger[12)]、Michelle C. Fox[12)]、Mengchun Li[12)]

1) MSD 株式会社
2) Community Resource Initiative, Boston, MA and Cambridge Health Alliance
3) Men's Health Foundation
4) Midway Immunology and Research Center
5) HIV Center, North Texas Infectious Diseases Consultants
6) Triple O Research Institute
7) Orlando Immunology Center
8) The Crofoot Research Center, Inc.
9) Mercer University School of Medicine
10) AIDS Clinical Center, NCGM
11) Royal Free London NHS Foundation Trust
12) Merck & Co, Inc.

P-C03-3 Switch to DORAVIRINE/ISLATRAVIR (DOR/ISL 100 mg/0.25 mg) QD from Oral ART: Week 96 Update from an Open-Label Phase 3 Study

初澤由香理[1)]、Chloe Orkin[2)]、Rosie Mngqibisa[3)]、Juan Diego Velez[4)]、Princy Kumar[5)]、Dominiqu Braun[6)]、Andrew Carr[7)]、Mark Bloch[8)]、Sharon Walmsley[9)]、Pablo Tebas[10)]、Alexandra Calmy[11)]、Monica Fuszard[12)]、Tracy Diamond[12)]、Beth Jackson[12)]、Michelle C. Fox[12)]、Jason Kim[12)]

1) MSD 株式会社
2) Queen Mary University of London
3) Enhancing Care Foundation, Wentworth Hospital
4) Fundacion Valle del Lili
5) Division of Infectious Diseases, Georgetown University Medical Center
6) University Hospital of Zurich
7) University of New South Wales
8) Holdsworth House Sydney
9) University of Toronto Department of Medicine
10) Penn Center for AIDS Research, University of Pennsylvania
11) HIV/AIDS Unit, Division of Infectious Diseases, Geneva University Hospitals
12) Merck & Co., Inc.

P-C03-4 抗 HIV 治療開始後の臨床検査値 5 年間の推移：電子カルテデータベースを用いた後向き観察研究

服部純子[1)]、上元 純平[1)]、松下一鈴[2)]、端本直輝[2)]、松本圭以[2)]、別府　汐[2)]、風戸知子[2)]、村上亜弥[3)]

1) MSD 株式会社
2) TOPPAN ホールディングス株式会社
3) 株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT

P-C03-5 Efficacy and Safety of Doravirine/Islatravir (100/0.25mg) in Adults with HIV and Renal Impairment

服部純子[1)]、Frank Post[2)]、Princy Kumar[3)]、Chloe Orkin[4)]、Amy Colson[5)]、Moti N. Ramgopal[6)]、Alexandra Calmy[7)]、Gatanaga Hiroyuki[8)]、Jonathan Underwood[9)]、Stephanie O. Klopfer[10)]、Anjana Grandhi[10)]、Ciaran J. McMullan[10)]、Matthew G. Johnson[10)]、Jason Y. Kim[10)]、Rima Lahoulou[10)]、Michelle C. Fox[10)]

1) MSD 株式会社
2) King's College Hospital NHS Foundation Trust
3) Division of Infectious Diseases, Georgetown University Medical Center
4) SHARE Collaborative, Faculty of Medicine and Dentistry, Queen Mary University of London
5) Community Resource Initiative, Boston, MA and Cambridge Health Alliance
6) Midway Immunology and Research Center
7) HIV/AIDS Unit, Division of Infectious Diseases, Geneva University Hospitals
8) AIDS Clinical Center, NCGM
9) Infection and Immunity, Cardiff University, Cardiff, UK and Infectious Diseases, Cardiff and Vale University Health Board
10) Merck & Co., Inc.

P-C03-6 ドルテグラビル / ラミブジン 2 剤療法の有効性に対する後方視的観察研究 - 続報 -

築地茉莉子[1)]、谷口俊文[2)]、矢幅美鈴[2)]、吉川　寛[2)]、内田雅士[1)]、猪狩英俊[2)]、石井伊都子[1)]

1) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
2) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

P-C03-7 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 7 年度）第 1 報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨[1)]、川戸美由紀[2)]、橋本修二[3)]、三重野牧子[4)]、天野景裕[5)]、大金美和[6)]、岡本　学[1)]、潟永博之[6)]、日笠　聡[7)]、八橋　弘[8)]、渡邊　大[1)]

1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 国立保健医療科学院
3) 藤田医科大学
4) 自治医科大学
5) 東京医科大学
6) 国立健康危機管理研究機構
7) 兵庫医科大学病院
8) 国立病院機構長崎医療センター

P-C03-8 ドルテグラビル＋ラミブジンの 2 剤療法への簡素化と併用薬の影響について

大田久美子[1)]、上原　仁[1)]、諸見牧子[1)]、仲村秀太[2)]、井手口周平[2)]、神矢佑輔[1)]、宮城京子[3)]、前田サオリ[3)]、平良悠馬[4)]、石郷岡美穂[5)]、前原一輝[5)]、金城隆展[6)]、中村克徳[1)]

1) 琉球大学病院薬剤部
2) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科
3) 琉球大学病院看護部
4) 琉球大学病院第一内科
5) 琉球大学病院医療福祉センター
6) 琉球大学病院地域・国際医療部

P-C03-9 当院における長時間作用型カボテグラビル・リルピビリン（CAB + RPV）導入例の血中濃度推移とウイルス学的転帰：単施設後方視的記述研究

青嶋瑞樹[1)]、久保田早苗[1)]、池田麻穂子[2)]、鈴木麻衣[2)]、福井由希子[2)]、内藤俊夫[2)]

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院　薬剤部
2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

P-C03-10 夫婦同一レジメン採用による HIV 感染症患者のアドヒアランス向上：マラウイ人男性と日本人女性夫婦の 1 症例

妹尾和憲[1)]、水鶏口隼人[1)]、佐藤只空[1)]、洲山佳寛[2)]、菅原隆文[2)]、因幡由美子[3)]、上林智子[3)]、岡本良一[1)]

1) 広島市民病院総合診療・感染症科
2) 同薬剤部
3) 同看護部

P-C03-11 内服中断しがちな精神疾患・知的障害を有するHIV感染者への注射薬カボテグラビル＋リルピビリン導入の取組み

堀江健太[1)]、山之内純[1)]、中尾　綾[1)]、池田　聖[2)]、宮崎雅美[3)]、中川進平[4)]、乗松真大[4)]、末盛浩一郎[1)]、竹中克斗[1)]

1）愛媛大学医学部附属病院　血液・免疫・感染症内科
2）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
3）愛媛大学医学部附属病院　看護部
4）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

P-C03-12 長期間のアドヒアランス不良患者に対する注射療法の効果

彼谷裕康

富山県立中央病院　感染症内科

P-C03-13 長期作用型注射療法ボカブリア水懸筋注＋リカムビス® 水懸筋注の実臨床での有用性と課題

松浦千裕、横室友美、吉村　歩、五十嵐俊、山本郁生

横浜市立市民病院

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C04（臨床・C）
高齢化・健康寿命

P-C04-1 HIV感染症患者における抗HIV薬レジメンの推移とポリファーマシーに関する後方視的検討

横尾卓也[1)]、花井雄貴[2)]、大谷真理子[1,3)]、磯田　凌[1)]、山浦美咲[1)]、下山航平[1)]、前田　正[4)]、宮崎泰斗[3,4)]、吉澤定子[5)]、松本高広[1)]

1）東邦大学医療センター大森病院薬剤部
2）明治薬科大学臨床感染症学研究室
3）東邦大学医療センター大森病院感染管理部
4）東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター
5）東邦大学医療センター大森病院臨床検査部

P-C04-2 HIV陽性患者の入院背景の変化

吉村　歩[1)]、高崎祐里[1)]、横山悠香[1)]、松浦千裕[1)]、横室友美[1)]、五十嵐俊[1)]、吉村幸浩[2)]、山本郁生[1)]

1）横浜市立市民病院薬剤部
2）横浜市立市民病院感染症内科

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C05（臨床・C）
生活習慣病合併症

P-C05-1 広島大学病院のART施行患者における脂質異常症の現状

山崎尚也[1)]、芳本和子[2)]、坂本涼子[2)]、獅々田由美[2)]、土石川かよ[1)]、齊藤誠司[3)]、藤井輝久[1)]

1）広島大学病院輸血部
2）広島大学病院看護部
3）独立行政法人国立病院機構 福山医療センター　感染症内科 / 広島県東部地区エイズ治療センター

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C06（臨床・C）
体重増加・副作用

P-C06-1 テノホビルは脂肪酸β酸化を抑制し脂肪滴肥大化を誘導する

福本　敦[1,2)]、矢崎有希[1)]、木村佳貴[1,2)]、吉野友祐[1,2)]

1）帝京大学医学部微生物学講座
2）帝京大学アジア国際感染症制御研究所

P-C06-2 ビクテグラビル開始後の体重増加に関する後方視的観察研究

藤田清香、梅本憂衣、平田亮介、大石博史、松岡志歩、江端成美、松尾待池、高野　豪、藤瀬陽子、山脇一浩

独立行政法人国立病院機構九州医療センター薬剤部

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C07（臨床・C）
HAND・メンタルヘルス・薬物依存

P-C07-1 認知症疾患医療センターにおける認知機能障害を伴うHIV陽性者の受け入れ状況に関する調査研究

橋本　衛[1)]、鈴木麻希[2)]、池田　学[3,4)]

1）近畿大学医学部精神神経科学教室
2）大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学
3）大阪精神医療センター脳とこころの未来医療センター
4）大阪大学ウェルネス推進機構健康支援相談センター

P-C07-2 神経心理学的検査（CoCoBattery）は抗HIV薬による認知機能改善の評価に有用か

西田拓洋[1)]、中尾　綾[2)]、谷　英俊[3)]、嶋田梨沙[4)]、海面　敬[5)]、中村美保[1)]、盛實篤史[1)]、和田秀穂[3)]、内田俊平[4)]、尾崎修治[5)]、河邉憲太郎[6)]、山之内純[2)]

1）高知大学医学部附属病院
2）愛媛大学医学部附属病院
3）川崎医科大学附属病院
4）香川大学医学部附属病院
5）徳島県立中央病院
6）石手内科

P-C07-3 中年期HIV陽性者におけるPOMS2実施状況と背景情報の関連の検討

黄　寛美[1,3)]、藤井輝久[1,2)]、喜花伸子[1)]、杉本悠貴恵[1)]

1）広島大学病院エイズ医療対策室
2）広島大学病院輸血部
3）公益財団法人エイズ予防財団　リサーチレジデント

P-C07-4 若年HIV陽性者の社会的孤立と精神的健康の関係について

金井講治[1)]、長瀬亜岐[1)]、田宮裕子[2)]、白阪琢磨[2)]、安尾利彦[2)]、岡本　学[2)]、神野未佳[2)]

1）三重大学保健管理センター
2）大阪医療センター

P-C07-5 HIV関連神経認知障害患者の就労支援における心理士の役割―復職・新規就労に至った2事例から―

曽我真千恵、南　留美、高濱宗一郎、犬丸真司、長與由紀子、中川ともみ、首藤美奈子、大里文誉

国立病院機構九州医療センター

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C08（臨床・C）
臨床薬理・PK / PD

P-C08-1 持効性注射製剤の血漿中カボテグラビルおよびリルピビリン濃度の経時的推移とUGT1A1およびCYP3A5遺伝子多型が及ぼす影響

矢倉裕輝[1,2)]、中内崇夫[2)]、久利　歩[1)]、岸田啓太郎[2)]、祝洸太朗[2)]、小西啓司[3)]、廣田和之[3)]、上地隆史[3)]、西田恭治[3)]、上平朝子[3)]、白阪琢磨[3)]、渡邊　大[1,3)]

1）国立病院機構 大阪医療センター　臨床研究センター　エイズ先端医療研究部
2）国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
3）国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C09（臨床・C）
薬剤耐性（臨床・C）

P-C09-1 薬剤耐性Mycoplasma genitalium感染症に対するニトロイミダゾール系抗菌薬療法の有効性および安全性：単群非盲検介入研究

桑田　亮[1)]、安藤尚克[1)]、水島大輔[1)]、清水陽介[2)]、澤田航太[2)]、上村夕香理[2)]、久保田寛顕[3)]、小林甲斐[3)]、水戸部森歌[3)]、三宅啓文[3)]、森　功次[3)]、新谷由衣[1)]、高野　操[1)]、川島　亮[1)]、青木孝弘[1)]、潟永博之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2）国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター
3）東京都健康安全研究センター 微生物部

■日時：11月22日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C10（臨床・C）
薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

P-C10-1 患者チェックシート「マイたび」の活用経験が薬局薬剤師の認識に与える影響：Webアンケートによる前向き横断研究

日笠真一、島袋翔多、秀田恭子、仲井俊行、中村豪志、田中邦佳

兵庫医科大学病院　薬剤部

P-C10-2 HIV感染症患者における院外保険薬局との連携強化ならびに患者支援の充実化を目的とした情報提供書の発行と情報共有の有用性の検証 - 保険薬局薬剤師の評価 -

平野　淳[1,2)]、矢倉裕輝[3)]、増田純一[4)]、平田亮介[5)]、中内崇夫[3)]、松木克仁[6)]、石井　良[7)]、石井聡一郎[8)]、國本雄介[9)]、田澤佑基[10)]、井上正朝[11)]、佐藤　萌[12)]、三枝祐美[13)]、安田明子[14)]、白濱　航[15)]、林　誠[1)]

1）国立病院機構東名古屋病院 薬剤部
2）国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
3）国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
4）国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 薬剤部
5）国立病院機構九州医療センター 薬剤部
6）国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部
7）新潟県立新発田病院 薬剤部
8）広島大学病院 薬剤部
9）札幌医科大学附属病院 薬剤部
10）北海道大学病院 薬剤部
11）旭川医科大学病院 薬剤部
12）国立病院機構仙台医療センター 薬剤部
13）新潟大学医歯学総合病院 薬剤部
14）石川県立中央病院 薬剤部
15）県立広島病院 薬剤科

P-C10-3 HIV 感染症患者における抗 HIV 薬服用に伴う負担・不安の実態と関連因子の検討―チェックシートデータを用いた後ろ向き観察研究―

秀田恭子、日笠真一、島袋翔多、仲井俊行、中村豪志、田中邦佳

兵庫医科大学病院薬剤部

P-C10-4 HIV/AIDS 中四国ブロック拠点病院・中核拠点病院・拠点病院における抗 HIV 薬および凝固因子製剤の供給体制に関する実態調査

石井聡一郎[1)]、藤井健司[1)]、藤井輝久[2,3)]、松尾裕彰[1)]

1）広島大学病院薬剤部
2）広島大学病院輸血部
3）広島大学病院エイズ医療対策室

P-C10-5 プロンプトの情報量が生成 AI の HIV 治療薬相談対応に与える影響

宮島寛幸

地方独立行政法人長野県立病院機構　長野県立こども病院

P-C10-6 HIV 感染症患者におけるセルフチェックシート項目の経年変化とその関連因子の後ろ向き解析

渡辺裕子[1,2)]、日笠真一[3)]、荒目俊明[2)]、下村翔一[1)]、岩根禎男[1,2)]

1）くるみ薬局兵庫医大店
2）くるみ薬局武庫川店
3）兵庫医科大学病院　薬剤部

P-C10-7 HIV 感染患者におけるトレーシングレポートを活用の現状と 4 年前との比較検討

山本順也

ココカラファイン薬局谷町四丁目駅店

P-C10-8 保険薬局薬剤師の「U=U」の理解と処方箋の応需対応への不安要因　～動画研修に関する追加報告～

野口梨紗[1)]、海老昌子[1)]、澤田智世[1)]、冨澤星華[2)]、松谷　定[3)]、伊藤智代[4)]、阿部真也[4)]、佐々木愛[5)]、野村和彦[5)]

1）調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
2）調剤薬局ツルハドラッグおゆみ野南店
3）調剤薬局ツルハドラッグ尼崎武庫元町店
4）株式会社ツルハ
5）株式会社ツルハホールディングス

P-C10-9 抗 HIV 長時間作用型注射剤の中止要因に関する実態調査

梅本憂衣、平田亮介、藤田清香、高野　豪、藤瀬陽子、山脇一浩

国立病院機構　九州医療センター

P-C10-10 ライフスタイルを考慮したレジメン選択：DOR/ISL へ切り替えた HIV 感染者の 1 症例

松尾待池、平田亮介、藤田清香、梅本憂衣、江端成美、松岡志歩、高野　豪、藤瀬陽子、山脇一浩

九州医療センター

P-C10-11 岡山県下 6 病院における患者および薬剤師を対象としたビクタルビ配合錠 ®PTP 製剤に関するアンケート調査

大道淳二[1)]、平良奈々[1)]、槇田崇志[2)]、清水久美子[3)]、亀尾剛士[4)]、立石　翼[5)]、佐藤可奈[6)]、佐久川亮[7)]、森　英樹[1)]

1）岡山赤十字病院薬剤部
2）岡山大学病院薬剤部
3）岡山済生会総合病院薬剤部
4）川崎医科大学付属病院薬剤部
5）川崎医科大学総合医療センター薬剤部
6）倉敷中央病院薬剤部
7）岡山赤十字病院呼吸器内科

P-C10-12 薬剤師の外来 HIV 診療に対する不安解消に向けた取り組み

平田亮介[1)]、山口泰弘[2)]、梅本憂衣[1)]、藤田清香[1)]、小泉陽奈子[1)]、藤瀬陽子[1)]、山脇一浩[1)]

1）国立病院機構九州医療センター　薬剤部
2）第一薬科大学　薬学部　薬剤設計学分野

P-C10-13 薬局における PWH への ACP 支援ツール「もしも手帳」配布の取り組み

田橋美佳

薬樹薬局三ツ沢

P-C10-14 HIV 感染症患者が求める服薬支援に関する実態調査

並河真菜[1)]、宮本愛梨沙[1)]、迫田直樹[2)]

1）都島センター薬局
2）法円坂薬局

■日時：11 月 22 日（日） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C11（臨床・C）
PEP・PrEP・STI・STD

P-C11-1 MSM におけるジアルジア・クリプトスポリジウム症の国内伝播

川島　亮[1,2,3]、明石恵実[4]、大城雄介[4]、
柳川泰昭[1,3]、下河原理江子[3]、黒川正美[4]、
土屋亮人[1]、山元　佳[5]、秋山純一[6]、安藤尚克[1]、
上村　悠[1]、青木孝弘[1]、水島大輔[1,2]、
八木田健司[3]、潟永博之[1,2]、渡辺恒二[7]

1）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター
2）熊本大学大学院 医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3）国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部
4）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 中央検査部門
5）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター
6）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 消化器内科
7）東海大学　生体防御学講座

P-C11-2 MSM における非複雑性 *Chlamydia trachomatis* 感染症に対するドキシサイクリン 3 日間療法

安藤尚克[1]、水島大輔[1]、清水陽介[2]、
上村夕香里[2]、澤田航太[2]、高野　操[1]、
青木孝弘[1]、川島　亮[1]、桑田　亮[1]、新谷由衣[1]、
潟永博之[1]

1）国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2）国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター データサイエンス部生物統計研究室

P-C11-3 神経梅毒 29 症例の臨床像の検討

新垣若子[1]、仲村秀太[1]、高江洲壮[2]、
井手口周平[1]、上　若生[1]、古堅　誠[1]、
宮城一也[1]、山本和子[1]

1）琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）
2）北部地区医師会病院

P-C11-4 札幌における PrEP 開始後の現状と直面している課題について

池田　博[1]、池田詩子[2]、市原浩司[3]、砂押研一[4]、
生島　嗣[5]、三輪岳史[5]、高野　操[6]、水島大輔[6]

1）池田内科
2）宮の森レディースクリニック
3）札幌中央病院
4）ていね駅前泌尿器科
5）ぷれいす東京
6）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

■日時：11 月 21 日（土） 10:30 ～ 12:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C12（臨床・C）
U=U と挙児希望・母子感染・歯科

P-C12-1 妊婦 HIV スクリーニング検査陽性時の診療連携体制、説明内容および心理的反応に関する全国調査

吉野直人[1,2]、伊藤由子[2]、岩動ちず子[2]、
小山理恵[2]、菊池琴佳[2]、幅野　渉[2]、
高橋尚子[1,2]、杉浦　敦[2]、田中瑞恵[2]、
高野政志[2]、出口雅士[2]、喜多恒和[2]

1）愛知県立大学 看護学部
2）「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

P-C12-2 当院で経験した女性 PLWH の診療状況とその課題

齊藤誠司[1,2]、福井洋介[1,2]、山崎由佳[2,3]、
河野恭宏[2,4]、安岡悠典[2,4]、野田綾香[2,4]、
濱岡照隆[4]、木梨貴博[2]、飯塚暁子[2]、坂田達朗[2]、
和田秀穂[5]

1）独立行政法人国立病院機構　福山医療センター　感染症内科
2）同　広島県東部地区エイズ治療センター
3）同　看護部
4）同　薬剤部
5）川崎医科大学付属病院　エイズ治療センター

P-C12-3 血友病患者における HIV 感染と頭蓋内出血の関連および口腔機能低下への影響

新谷智章[1]、岡田美穂[2]、川越麻衣子[2]、
岩田倫幸[3]、山崎尚也[4,5]、藤井輝久[4,5]、
柴　秀樹[6]

1）広島大学病院口腔検査センター
2）広島大学病院歯科衛生部門
3）広島大学病院歯周診療科
4）広島大学病院輸血部
5）広島大学病院エイズ医療対策室
6）広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C12-4 HIV 感染妊婦における経膣分娩選択への歩み～最新版「経膣分娩マニュアル改訂追補版（2026 年 3 月）」について～

林　公一[1,8]、出口雅士[2,8]、山田里佳[3,8]、喜多恒一[4,8]、杉野祐子[5,8]、羽柴知恵子[6,8]、吉野直人[7,8]、厚労科研費：HIV 母子感染予防班 吉野直人研究班[8]

1）NHO 関門医療センター
2）神戸大学大学院医学研究科地域社会医学ネットワーク学分野
3）JA　愛知県厚生連海南病院
4）奈良市総合医療検査センター
5）国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター
6）NHO 名古屋医療センター
7）愛知県立大学看護学部
8）厚生労働省科学研究補助金エイズ対策政策研究事業：「HIV 母子感染予防班」

P-C12-5 HIV 陽性者における子どもを持つことの断念経験と支援ニーズ

細川陸也[1]、井上洋士[2]、戸ヶ里泰典[3]、高久陽介[4]、大島　岳[5]、阿部桜子[6]、山内麻江[7]、米倉佑貴[8]、関由起子[9]、塩野徳史[10]、井上智史[11]、伊藤佳七子[2]、若林チヒロ[12]

1）京都府立医科大学
2）アクセライト
3）放送大学
4）日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
5）明治大学
6）TIS
7）順天堂大学
8）聖路加国際大学
9）埼玉大学
10）大阪青山大学
11）九州大学
12）埼玉県立大学

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C13（臨床・C）
看護・長期療養・チーム医療

P-C13-1 ブロック拠点病院の支援により非拠点病院で持効性注射剤を導入した高齢 HIV 感染者の一例

田村美喜[1,2]、辻　晃朗[1,3]、横尾ゆかり[1]、猪俣萌子[1]、須貝　恵[1,3]、増沢磨理[1]、三枝祐美[1,4]、鈴木啓記[1,4]、阿部静太郎[1,5]、柴田　怜[1,5]、青木信将[5]、青木美栄子[1,2]、茂呂　寛[1,5]

1）新潟大学医歯学総合病院　HIV 感染症総合支援センター
2）新潟大学医歯学総合病院　看護部
3）公益財団法人　エイズ予防財団
4）新潟大学医歯学総合病院　薬剤部
5）新潟大学医歯学総合病院　呼吸器・感染症内科

P-C13-2 多系統萎縮症を合併した HIV 感染症患者への多職種連携による転院支援――注射製剤への移行に関連した転院調整の障壁

伊藤慶洋[1]、村元祐子[2]、浦野睦美[2]、鈴木優子[2]、田口李砂[2]、塚田そのみ[2]、大森健太郎[3]、宮城島拓人[4]

1）労働者健康安全機構　釧路労災病院　地域医療連携室
2）労働者健康安全機構　釧路労災病院　看護部
3）労働者健康安全機構　釧路労災病院　薬剤部
4）労働者健康安全機構　釧路労災病院　内科

P-C13-3 重度介護を要した HIV 患者の在宅療養継続を支えたシームレスな医療連携―療養病棟と訪問診療の一体的運用の 1 例―

大石　毅[1]、川路聖子[3]、園　徳子[3]、遠藤一平[4]、上久保淑子[1,2]

1）医療法人財団圭友会　小原病院
2）東京医科大学臨床検査医学分野
3）医療法人財団圭友会　小原病院　看護部
4）医療法人財団圭友会　小原病院　介護部

P-C13-4 HIV 陽性患者における経口抗レトロウイルス療法から長期作用型注射製剤への治療移行後に患者が認識するベネフィットおよびデメリット：質的帰納的研究

杉山仁美[1]、臼井依都子[1]、田中利江子[1]、杉村鮎美[2]、中川ひろみ[2]

1）岐阜大学医学部附属病院看護部
2）国立大学法人東海国立機構岐阜大学医学部看護学科

P-C13-5 HIV 感染者における家族や大切な人との高齢期から人生の最終段階を見据えた話し合いの実態

八鍬類子[1,2]、堀田宗一郎[3]、川上明希[1]、田中真琴[1]

1）東京科学大学保健衛生学研究科
2）東京医療保健大学千葉看護学部
3）東京医科大学医学部看護学科

P-C13-6 進行性多巣性白質脳症（PML）を合併していた HIV 患者の意思決定支援における看護の一例

井上桃花、前田愛子、影森彩夏

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター看護部

P-C13-7 HIV 長期作用型注射剤導入に向けた外来看護師教育介入の施行と評価

多田志穂、雨宮喜美子、河西洋子

地方独立行政法人　東京都立病院機構　がん・感染症センター都立駒込病院

P-C13-8 外来における HIV 陽性者への継続的療養支援体制の検討

南村　茜[1)]、七條明代[1)]、樋野優子[1)]、
植田景子[1)]、大川美加[1)]、中村明世[2)]

1）奈良県立医科大学附属病院 C 棟 8 階
2）奈良県立医科大学附属病院　感染管理室

P-C13-9 HIV 陽性者を『特別な患者』にしない ―医療療養型病院における介護実践と職員教育―

遠藤一平[1)]、上久保淑子[3,4)]、川路聖子[2)]、
園　徳子[2)]、大石　毅[3,4)]

1）医療法人財団圭友会　小原病院　介護部
2）医療法人財団圭友会　小原病院　看護部
3）医療法人財団圭友会　小原病院
4）東京医科大学臨床検査医学分野

P-C13-10 HIV 陽性患者を支える看護体制の構築－療養病棟における看護実践報告－

園　徳子[1)]、川路聖子[1)]、上久保淑子[3,4)]、
遠藤一平[2)]、大石　毅[3,4)]

1）医療法人財団圭友会　小原病院　看護部
2）医療法人財団圭友会　小原病院　介護部
3）医療法人財団圭友会　小原病院
4）東京医科大学臨床検査医学分野

P-C13-11 MA-T 口腔ケア製品を活用した効果と今後の課題

今井三枝子[1)]、高嶋英樹[2)]、叶内　至[3)]、
阿部公俊[4)]、中尾安秀[2)]

1）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院
2）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科
3）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院薬剤部
4）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

■日時：11 月 22 日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C14（臨床・C）
症例報告

P-C14-1 ウイルス学的抑制が得られている HIV 感染者において、安定した気管支拡張症の経過中に顕在化した HIV 関連肺動脈性肺高血圧症

柳　秀高、津田歩美

東海大学総合内科

P-C14-2 歯科受診を契機に発見された HIV 感染症の 1 例

岡田美穂[1)]、應原一久[2)]、新谷智章[3)]、
川越麻衣子[1)]、岩田倫幸[2)]、山崎尚也[4)]、
藤井輝久[4)]、柴　秀樹[5)]

1）広島大学病院診療支援部歯科部門
2）広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室
3）広島大学病院口腔検査センター
4）広島大学病院輸血部
5）広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C14-3 HIV 感染判明直後のパートナーへの病名打ち明けに対する看護師の意思決定支援

前田サオリ[1)]、仲村秀太[2)]、宮城京子[1)]、
新垣有紗[3)]、吉村和佳乃[3)]、前原一輝[3)]、
石郷岡美穂[3)]、金城隆展[4)]、上原　仁[5)]、
大田久美子[5)]、宮良尚子[6)]、石垣永夢歌[7)]、
山本和子[2)]、眞榮城智子[1)]

1）琉球大学病院看護部　外来
2）琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
3）琉球大学病院医療福祉センター
4）琉球大学病院地域・国際医療部
5）琉球大学病院薬剤部
6）沖縄県公認心理師協会
7）琉球大学病院検査・輸血部血液検査室

P-C14-4 ニューモシスチス肺炎を契機に判明した HIV 陽性者の寒冷凝集素症の一例

上田晃弘[1)]、馬渡桃子[1)]、丸木孟知[2)]、余語　萌[3)]

1）日本赤十字社医療センター感染症科
2）済生会中央病院総合診療・感染症内科
3）日本赤十字社医療センター血液内科

P-C14-5 抗 HIV 治療前、治療中に HIV 関連血小板減少症をきたした 2 例

赤木智昭、海老名徹、立田卓登、久保恒明

青森県立中央病院血液内科

P-C14-6 Brentuximab vedotin + AVD 療法を完遂することができた HIV 患者に発症したホジキンリンパ腫

加藤潤一[1)]、森　健人[2)]、中尾　綾[1,3)]、
増田侑也[1)]、小西達矢[4)]、名部彰悟[1)]、丸田雅樹[1)]、
宮崎幸大[1)]、越智俊元[1)]、山之内純[4)]、竹中克斗[1)]

1）愛媛大学医学部　血液・免疫・感染症内科学講座
2）市立宇和島病院　血液内科
3）愛媛大学医学部　感染制御学講座
4）愛媛大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部

P-C14-7　経管栄養施行下にビクタルビ配合錠を簡易懸濁法で投与し薬物血中濃度を評価した１例

関　将行[1)]、長島浩二[1)]、増田純一[1)]、川島　亮[2)]、桑田　亮[2)]、照屋勝治[2)]、潟永博之[2)]、西村富啓[1)]

1）国立国際医療センター　薬剤部
2）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発セン ター

P-C14-8　多職種連携により集学的治療を完遂し得たHIV 関連中枢神経原発リンパ腫の一例

井上政弥[1,2)]、林　克起[2)]、宇賀田典美[2)]、岡田隆宏[2)]、中元隆浩[3)]、土井教雄[3)]、伊達雅子[4)]、安部紀子[4)]、成相晴美[5)]、高野由美子[6)]、後藤悦子[4)]、鈴木律朗[2)]

1）島根大学医学部附属病院輸血部
2）島根大学医学部附属病院血液内科
3）島根大学医学部附属病院薬剤部
4）島根大学医学部附属病院看護部
5）島根大学医学部附属病院地域医療連携センター
6）島根大学医学部附属病院 HIV カウンセラー

P-C14-9　生活背景および併用薬を考慮した初回 ART 導入支援を行った一例

辻田麻衣[1)]、宇高　歩[1)]、溝端友希[1)]、藤井千賀[1)]、中野光世[2)]、長谷川耕平[2)]、小川吉彦[2)]

1）堺市立総合医療センター　薬剤科
2）堺市立総合医療センター　感染症内科